

・痛風

■その他

・痔

・下痢

・おたふく風邪：睪丸に炎症が移った場合

MODALITY

▷ 軟便、動くことなど

◁ 冷氣、濡れること、夜、霧の日など

RELATIONS

・ Follows well : Aconitum, Bryonia

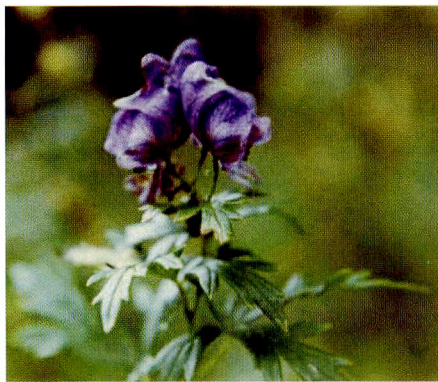
Aconite napellus トリカブト [ショック, パニック, 恐怖]

Aconitum napellus L.

別名：Aconitum angustifolium bernh ex Reichb, Aconitum coreuleum, Aconitum dissectum D.Don, Aconitum multifidum Royle, Aconitum stoerckianum Reichb, Aconitum vulgare DC

BACK GROUND

Aconiteは、ヨーロッパから中央アジア原産のキンポウゲ科トリカブト属の高山植物で、現在は広く北半球の海拔1,000～3,000mの高地に分布しています。茎は1m以上伸び、高さは80～150cmくらいになります。トリカブト属の種類は世界で300種くらいといわれます。そのほとんどが猛毒で、毒の強烈さは植物界最強の1つと言われています。日本には約30種類くらい自生しています。洋の東西を問わず、古代から矢毒としての利用や暗殺の手段として、また医薬品としても人間の歴史と深く関わってきました。古代ローマでは、政権継承のために継子を殺すことが多く、「継子の毒」として知られており、またドイツでは「悪魔の草」として恐れられていました。



(I)

日本名でトリカブトと呼ばれ、その花の形が、舞楽のとき使う鳳凰の頭のかたどった鳥兜に似ていることに由来します。この花の特殊な形状は、この花の

蜜を吸い受粉を媒介する特定の蜂にとって、都合のいい形になっています。

一般名は Wolfsbane, Monkshood, Blue rocket などと呼ばれています。Wolfsbaneは、この植物の毒を矢尻に浸けて狼狩りをしたことが由来になっています。Monkshoodは、花の形が修道士が被る青紫のフードに似ているからです。Blue rocketは青紫の花が咲いている姿に由来します。耐寒性多年草で、2年目の7～9月にきれいな紫色の花を咲かせます。同じ植物分類のキンポウゲ科のレメディには、Cimicifuga, Helleborus, Hydrastis, Paeonia, Ranunculus bulbosus などがあります。また、この植物の根だけでつくったレメディは、Aconitum radix といいます。

Aconiteは非常に毒性が強く、昔は狩りのための矢毒として用いられていました。ラテン語のaconとは矢を意味します。もともとこれはテオフラトスの「植物誌」によれば、この矢毒用の植物が生育する、クレタ島にあるアコナイという古代の地名に由来します。アイヌ族もスルクと呼んで毒矢に利用していました。この毒で捕獲した動物の肉は、加熱により毒が不活化されるので、加熱調理後は食べる人が中毒を起こすことがありません。

漢方では、トリカブトを加熱などの処理をしてアコニチンを弱毒化したものを、その製法に応じて附子または烏頭などと呼び、漢方薬の配合に使用されています。その主なものには、八味地黄丸、真武湯、四逆湯、天雄散、そして、華岡青洲の通仙散（注）などの漢方薬に加えられています。

附子の効能は、鎮痛、鎮痙、強心、利尿、新陳代謝機能の衰弱の改善、冷えと血圧低下の改善などがあり、

とくに全身の機能低下がある老人や、リウマチなど慢性消耗性の病気の治療に使われています。

MATERIAL

トリカブト全体。トリカブトはその成分として毒性の強いアコニチン、アコニン、ナペリン、メサコニチン、ジュサコニチン、ヒパコニチンといったジテルペン系の構造をもっているアコニチン型アルカロイドを含んでいます。他には、イタコン酸、琥珀酸、マロン酸、果糖、ドーパミン、ノルアドレナリンなども含有されています。個体や生育地域によって含有比や含有量が異なります。

アコニチンの作用は興奮性細胞膜のナトリウムチャンネルを開き、ナトリウムの細胞内への流入を促進し、膜を活性化させます。動物実験において、呼吸中枢麻痺、心伝導障害の惹起、循環系の麻痺、知覚および運動神経の麻痺を起こすことがわかっています。

トリカブトは心臓の刺激伝導系を乱す作用があり、種々の不整脈を引き起こします。徐脈、房室ブロック、洞性頻脈、期外収縮、心室細動などが起こります。

また延髄に作用して呼吸麻痺を起こします。

中毒症状は次のような経過をたどります。初期にはのぼせ、顔面紅潮、めまい、心悸亢進、舌や口のしびれ、胸（心臓部）の灼熱感が起こり、やがて流涎、感情や思考力の低下、言語不明瞭、悪心・嘔吐、冷感、腹痛、下痢となり、末期にはチアノーゼ、瞳孔散大、体温低下、血圧低下、不整脈、呼吸麻痺を起こし、全身が痙攣し、死にいたります。

トリカブトは、全草が猛毒で、有毒成分の含有量は根にもっとも多く含まれ、ついで花、葉、茎の順にあります。ただし、開花直前の時期だけは、葉の有毒成分濃度が高まります。

Aconiteは高地のやや湿った日陰に生息し、不安定で急激な気候の変化のある過酷な環境のもとで成長していきます。そのためAconiteは、急激な恐怖、パニックや極度の不安に非常に関連深いレメディです。

Aconiteのキーワードを覚えやすくするには、次の6Fで覚えるといいかもしれません。

Fear（恐怖）、Fright（不安）、Fever（発熱）、Fast（急激）、Frantic（恐怖からのショック）、Freeze（寒冷曝露）

FIRST PROVING

ハーネマン（1805）

MIND

Aconiteタイプの人、ふだんは非常に強く健康で、

仲間をほしがります。自尊心があまりなく、他人には無神経にふるまい、意地悪くなります。ひとたび病気になる、非常に強い不安感が襲い、極端に落ち着きがなくなり、死を恐れ、非常に具体的に死について考えます。差し迫った死の時間まで考えます。このような考えはたいてい、最初または2度目の恐怖の体験のときに、はっきりと現れます。動物の場合は非常に不安がっているように見えます。また、ショックや激しい不安状態になりやすく、とくに人ごみの中では顕著になるため、外出を嫌うようになります。狭い所も嫌います。このような不安は、とくにショッキングな体験をした後に起こります。光、音、音楽、匂い、味、触感などすべての感覚が過敏になります。些細なことも過敏に受け止めます。痛みにも非常に過敏になり、乾燥した冷風も嫌います。アルコールや冷たい飲み物を欲します。

AFFINITY

Aconiteは、主に、精神、神経（とくに感覚神経系）、心臓、脳、関節に作用します。

CLINICAL APPLICATIONS

臨床では、主に急性のショックや伝染病や風邪の発病の急性期に使用します（できるだけ迅速に投与）。通常は、高ポテンシーのものが使用されます。また不安やパニック、事故や災害による精神的ショックにも使います。



(I)

精神的な場合は、急激なストレス後の慢性症例にも使用されることがあります。また、外傷による眼の急性炎症初期にも使用します（眼の外傷にはArnica, Symphytum, Calendula, Calcarea sulphuricum,

Conium, Euphrasia, Hamamelis, Helleborus, Ledumなどもあります)。

■精神

- ・ ショック
- ・ パニック
- ・ パニック障害, 心的外傷後ストレス障害
- ・ 急性の極度の不安
- ・ 不安障害
- ・ 死の恐怖: 差し迫った死への確信をもつ傾向があります (Arsenicum albumと違い, 死の時間まで指定することがあります)。
- ・ 恐怖や寒冷ストレス後の無月経: 低ポテンシーからゆっくりと毎日ポテンシーを上げていく方法が効果的です。
- ・ 難産: 死を恐れる場合
- ・ 出生直後の新生児のサポート
- ・ 出産後の新生児と母親の尿滞留
- ・ 災害や事故, 戦争時
- ・ 恐怖症: 閉所恐怖症, 広場恐怖症, 飛行機恐怖症など

■神経系

- ・ 神経痛: とくに寒さによって発病します。中でも三叉神経痛に対してよく使われます。痛みは寒さで悪化し, しびれと疼くような痛みがあります。
- ・ めまい: とくに激しいショックを受けた後, 脳が前後にふらつくような感覚, よろめく感覚 (とくに右側へ), 激しい頭痛, 吐き気, 立ちくらみなどが起こります。
- ・ 歯痛

■心血管系

- ・ 心臓の発作では, 強い不安感や切迫した死への恐怖を伴います。
- ・ 高血圧の発作: 頻脈を伴います。充血性の頭痛があり, 顔は熱く赤く紅潮します。
- ・ 発作性の頻脈: ショックやパニック, 寒冷によって起こります。
- ・ 動脈性出血
- ・ 恐怖による狭心症発作
- ・ 心筋梗塞 (Latrodectus mac.): 左腕のしびれを伴う場合

■熱性疾患

- ・ 急性の発熱性疾患: 片方の頬が赤く, もう片方が青いことがあります。口の中が苦く感じることがあります。肌は赤く, 乾燥して, 喉が渇き, 冷たい水を欲しがります。掌に焼けるような熱さを感じることがあります。高熱の間, 頭痛を起こすこともあります。

- ・ 熱射病, 日射病: 肌が乾燥し発赤しています。汗が多く出始めたら, Belladonnaを考慮してください。
- ・ 急性呼吸器感染症の初期
- ・ 下痢: 寒冷曝露後に突然起こり, 発熱と腹部の痛性痙攣を伴います。強い不安感も伴います。

■その他

- ・ 緊急の外傷時
- ・ 各種急性感染症初期
- ・ 各種急性疾患発病初期
- ・ 各種急性炎症初期
- ・ 中耳炎: 突然発症します。発病初期に使用します。強い痛みと発熱があります。
- ・ 急性結膜炎: 光過敏症になっています。外傷や異物, 感染などに起因するもののほか, 眼の外科手術後にも有効です。
- ・ 急性関節炎: 寒冷曝露後に突然痛みが始まります。

MODALITY

- ▶ 暖かく新鮮な空気, 外気, 発汗, ワイン, 休息
- ◀ 恐怖, ショック, 急激な寒さ, 激しい感情や苦悩, 風, 寒さ, 冷たく乾いた空気, 音, 音楽, 光, 生理中, 患部を下にして寝ること, 患部を圧迫すること, 暖かい部屋, 閉切った部屋, 太陽の下で寝ること, 夜, 喫煙など

RELATIONS

- ・ Antidoted by: Aceticum acidum, Sulphur, アルコール, ワイン, コーヒー, レモネードなど
- ・ Antidote to: Chamomilla, Belladonna, Coffea, Spongia, Petroselinum, Nux vomica, Sepia, Sulphur
- ・ Complementary remedyには, Arnica, Bryonia, Coffea, Sulphurがあります。
- ・ Incompatible remedyには, Glonoinumがあります。Aconiteのレメディには, Aconitum napellusのほか, Aconitum cammarum, Aconitum ferox, Aconitum lycoctonum, Aconitum anthora, Aconitum septentrionaleなどがあります。それらの適用を簡略化してまとめると, 次のようなものがあります。
- ・ Aconitum cammarum: 湿疹, 神経痛, 唾液分泌過多, 舌麻痺, 嘔吐など
- ・ Aconitum ferox: 呼吸困難, チェーン・ストークス呼吸, 焼けるような痛み, 神経痛, 悪寒, 胃痛, しびれなど
- ・ Aconitum lycoctonum: 乳腺炎, 下痢, 腺の腫脹, ホジキン病など
- ・ Aconitum anthora: 不整脈, おくび, 唾液分泌過

多, 乾燥肌など

- ・ *Aconitum septentrionale* : 胃部不快感, 頭重感, 徐脈など

●主な *Ranunculaceae* キンボウゲ科のレメディ

Ranunculaceae (Buttercup) : *Aconitum napellus*, *Cimicifuga racemosa*, *Helleborus niger*, *Pulsatilla nigricans*, *Ranunculus bulbosus*, *Staphysagria*, *Aconitum anthora*, *Aconiticum acidum*, *Aconitum cammarum*, *Aconitum ferox*, *Aconitum lycoctonum*, *Aconitine nitrate*, *Aconitum napellus radix*, *Aconitum septentrionale*, *Aconitinum*, *Actaea spicata*, *Actaea pachypoda*, *Adonis vernalis*, *Adonis aestivalis*, *Adonidinum*, *Aquilegia vulgaris*, *Anemone nemorosa*, *Anemone ranunculoides*, *Aquilegia canadense*, *Caltha palustris*, *Clematis vitalba*, *Clematis virginiana*, *Clematis recta*, *Clematis*, *Coptis trifolia*, *Delphinium staphysagrium*, *Delphinium nuttallianum*, *Eranthis hymnalis*, *Helleborus foetidus*,

Helleborus orientalis, *Helleborus viridis*, *Hepatica acutiloba*, *Macrotinum*, *Napellin*, *Nigella damascena*, *Nigella sativa*, *Pulsatilla nuttalliana*, *Pulsatilla vulgaris*, *Ranunculus acris*, *Ranunculus ficaria*, *Ranunculus flammula*, *Ranunculus glacialis*, *Ranunculus occidentalis*, *Ranunculus repens*, *Ranunculus sceleratus*, *Thalictrum dasycarpum*

注) 華岡青洲の通仙散

華岡青洲は, 1804年に近代医学では世界で初めて, 乳癌患者に全身麻酔をかけて手術をしました。その際に全身麻酔で使われたのは, トリカブト *Aconite*, チョウセンアサガオ *Storamonium*, トウキなどを調合してつくった麻酔でした。青洲は, 犬を用いて実験を繰り返した後, 自分の妻加恵を使い実験を繰り返しました。加恵は後に副作用からか両目とも失明してしまいました。そして, 大和(現在の奈良県)の高齢の乳癌の女性に, 初めて乳癌摘出手術を行いました。青洲は, 手術用のハサミやメス, ノコギリなども自分で考案してつくりました。

Aesculus hippocastanum マロニエ [痔と静脈のうっ血]

Aesculus hippocastanum L.

BACK GROUND

Aesculus hippocastanum は, ギリシア北部からトルコ, ブルガリア地域原産のトチノキ科トチノキ属の落葉高木です。樹高は30mくらいになり, 幹の直径は1mを超えます。日本でも全国に分布しています。日本のトチノキ (*Aesculus turbinata*) とよく似ていますが, 果実の表面に棘があることで容易に区別がつけます。日本のトチノキと区別して, セイヨウトチノキとも呼ばれています。マロニエとよく呼ばれていま



(A)

すが, これはフランス語 *Marronnier* に由来します。ほかにもウマグリとも呼ばれています。

葉は, 大形の掌状複葉で5~7枚の葉が対生します。1枚の葉の長さは, およそ30cmです。

春から初夏にかけて, 枝の先に円錐形の花序をつけて開花します。花は樹木全体に咲き, 4~5枚の花弁をもち, 白色やピンク色を呈します。この花が綺麗なので, 街路樹や公園樹にも適していて, ヨーロッパやアメリカなどでよく使われています。英国では, ロンドン郊外に長さ1.6kmの通りに300本のマロニエ並木があり, 開花期には壮観です。

この花の後に, 鋭い棘をもつ直径5cmほどの球形の実ができます。実の中には, 褐色の大きなクリに似た種子が1~3個包含されていて, 食用にもなります。フランスのお菓子, マロングラッセにも使用されていたことがあったそうです。ただし, 少量の有毒成分エスクリンを数%含んでいますので, 現在は使われていませんが, 熱で無毒化されます。

英語名では, 馬栗 *Horse-chestnut* と呼ばれていますが, これはこの栗のような種を馬や牛の餌にしたり, 馬の咳の薬として使用したことに由来します。学名の